

第36回東京民研・都教組『共同研究集会』

子どもたちと いのち輝く平和な未来を VI



学校と社会が“危機”にある今、

子どもの“発達の願い”に まっすぐこたえる教育を！

「学ぶって楽しい」を、全都の子どもに届けたい

「わかった！できた！楽しい！」って、輝く子どもの笑顔が何より…

9月8日(日) 10:00~16:30

★エデュカス東京 7階会議室にて

(JR「市ヶ谷」「四ツ谷」7分、地下鉄有楽町線「麹町」5番出口2分)

「人格の完成をめざす教育」のために

本来、子どもたちは勉強が大好きです。それなのに今、小学校1年生から「わからないから学校は嫌い」という子どもが増えています。

一方、そんな状況の進行する中でも、「授業を工夫して子どもたちがイキイキ学んでくれた。自分も本当に嬉しかった」と報告する教職員の声もたくさん聞こえてきます。また、全都の多くの地域には、子どもの貧困や不登校の問題に取り組む活動の輪も広がっています。

『共同研究集会』は、人格の完成をめざす教育・学校の姿を求めて、授業や学校づくり、地域での取り組みを交流し、そこに貫かれている子どもの発達の姿について語りあい、学びあう集会です。

ぜひご参加ください。

〈午前の部〉 10:00~12:30

問題提起「子どもの“発達の願い”にまっすぐこたえる教育を part2」(実行委員会)

◆基調実践報告1「子どもの姿から見てきたこと・子どもの姿から学ぶこと」
—「きちんとした指導」と「道徳」と「学ぶ楽しさ」(4年生の実践から)—
公立小学校教員

◆実践報告2「特別支援学級における授業の工夫(算数と道徳の授業から)」
—子どもに寄り添う喜びと、自分の中の若干の“戸惑い”にふれながら—
公立小学校・特別支援学級教員

討論① 東京の現場の実態をどうとらえるのか！ 打開の“可能性”はどこにあるのか。

〈午後の部〉 13:30~16:30

◆実践報告3「中学3年生の思いに寄り添うこと。目のある『自我像』(美術)の実践から」
—主体的、対話的で深い学び？資質・能力？という学力観と表現—
公立中学校教員

◆地域からの実践報告4 「子ども食堂“猫の足あとハウス”の取り組みから」
西東京市民

討論② “可能性”を大きな展望・希望につなげていくために。

4本の実践報告を受けて、自由に深め合ひましょう

「共同研究集会」の討論のまとめ

(実行委員会)